

	部(支所)長	課長	担当
回 覧			

## ヨトウムシ類のあれこれ

お世話になっております。梅雨があけ、気温30度が越える日々が連日続いております。皆様、熱中症対策は出来ていますか？作業中はこまめに水分をとり、休憩をとりましょう！

### ●ヨトウムシって何？

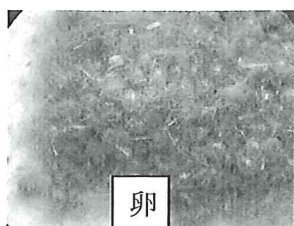
ヨトウムシ類は大型であり、**薬剤が比較的効きにくい部類**に入り、チョウ目害虫に活性を有する剤の中でも、「ヨトウムシ類は不得意」といったものが多くあります。また、卵塊で産卵されるので、防除が手遅れになると、何百という幼虫が発生して**甚大な被害**が生じます。有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤等に対する抵抗性が報告されています。主要な種の形態的、生態的特徴は以下の通りです。

#### ～ヨトウガ～

成虫は前翅長18～23mm、暗褐色の前翅に3個の灰褐色の斑紋がやや目立つ。1、2齢幼虫はシャクトリムシのように歩行し、成長すると日中は株元などに潜み、夜間に活動して暴食するためヨトウムシと呼ばれる。老齢幼虫は体長約30～40mm、地味な模様で淡褐～暗褐色。広食性で、各種野菜のほかイネ科を除くほとんどの作物の葉を食害する。

#### ～ハスモンヨトウ～

成虫は前翅長16mm～17mm、前翅は黒褐色、斜めに交差して走る数条の淡褐色の縞模様が目立つ。老齢幼虫は体長40mm内外、体色は灰暗緑色、暗褐色など変化に富む。孵化幼虫は集団で葉裏から表皮を残すように食べ、その後、分散して1か所に数匹で食害する。中齢以降は日中は日陰や地際部等に潜み、主に夜間に活動し、葉脈だけを残して暴食するヨトウムシ類である。広食性でほとんどの野菜類、畑作物、花卉を食害する。



私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

～シロイチモジヨトウ～

成虫は前翅長12mm内外、前翅は灰褐色から黄褐色、卵は加害作物に卵塊で産み付けられる。老齢幼虫は体長30mm内外、主として夜間に活動する。広食性で50種以上の植物を加害し、ホウレンソウその他の野菜で被害が知られている。成虫・幼虫ともに9月、10月に多くなる。休眠性はなく成虫その他各態で越冬するとみられる。

【生態】

項目	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ
年発生回数	2～3回	5～6回	約5回(鹿児島)
越冬	蛹、土中	幼虫、蛹、土中施設内では冬期も加害する。	不明(野外でも幼虫の可能性あり)
産卵	葉裏に数十～百数十粒をかためて産み付ける	葉裏に数卵～300粒をかためて産み付ける。	卵塊で主として葉の表面に産み付ける。
成虫の産卵期間	4月下旬～5月下旬、9月上旬～10月下旬	施設内では、冬期も産卵する。	施設内では、冬期も産卵する。
卵期間	1週間～10日	2～3日(夏)	2～3日
幼虫	5回脱皮して約1カ月で終齢になる。	5～6回脱皮し、幼虫期間夏期は約1カ月。	4回脱皮し、幼虫期間夏期は約2週間。
蛹	土中に部屋を造り蛹化する。盛夏に休眠するものもある	土中で蛹化する。蛹期間1週間～10日	土中表面で蛹化する。蛹期間1週間
成虫	あらゆる作物に産卵する。	夜間に飛来し産卵する。	夜間に飛来し産卵する。

【被害】

●ヨトウガ・ハスモンヨトウ

若齢期の幼虫は葉裏に群生し、表皮を残し葉肉を食害するが、中齢以降は分散し葉緑から葉脈や葉柄を残して食害する。なす、トマト、ピーマンなどは葉だけではなく果実に幼虫が潜入して果肉を食害する。

●シロイチモジヨトウ

本種による被害は特にネギが多く、孵化幼虫は葉の表皮を僅かにかじるが、葉肉に食入し葉の内側から表皮を残して食害する。3齢頃までは集団で加害するが、その後周辺の株に分散する。

●Q&Aヨトウムシって1日どのくらい食べるの？

ヨトウムシ各齢幼虫の1日の摂取量

齢	摂食量(24時間)mm <sup>2</sup>	各令の摂食比率(%)
1	19	0.07
2	34	0.12
3	121	0.44
4	960	2.05
5	2,358	8.62
6	24,251	88.69

注：ダイコン葉を供試

加害主作物は主にキャベツ、ハクサイ、ダイコン、カブ、ニンジン、ゴボウ、キュウリ、トマト、ネギなどの野菜類、エンドウ、ソラマメ、ダイズ、アズキなどの豆類、バレイショ、カンショなどのイモ類、タバコなどの特用作物、その他花卉類など極めて広範囲に及びます。

## 【防除対策】

ハスモンヨトウの幼虫の摂食量は4齢幼虫までは少ないが、5・6齢で急激に被害が増大する。また、老齢幼虫は薬剤に対する感受性も低下することから、若齢幼虫期の防除が必須となる。性フェロモン剤（コンフューザーV）の設置も有効である。

## ●ヨトウムシに対する主な薬剤一覧

分類	薬剤名
有機リン酸	ジェイエース水溶剤、オルトラン水和剤 エルサン乳剤
カーバメート系	ランネート45DF
スピノシン系	ディアナSC
ピレスロイド系	アグロスリン水和剤・乳剤、アディオン乳剤、 トレボン乳剤 ハクサップ水和剤
ナトリウムチャンネル阻害A型剤	トルネードエースフロアブル
マクロライド系	アフーム乳剤、アニキ乳剤
ジアミド系	フェニックス顆粒水和剤、プレバソフロアブル5
酸化リン酸化脱共役剤	コテツフロアブル
脱皮ホルモン受容体活性剤(IGR剤)	マトリックフロアブル、ロムダンフロアブル
キチン生合成阻害剤(IGR剤)	アタブロン乳剤、カスケード乳剤、ノーモルト 乳剤、マッチ乳剤
BT系	ゼンターリ顆粒水和剤、エコマスターBT
その他剤	プレオフロアブル
(生物農薬－フェロモン)	コンフューザーV

\*簡易的な表のためご活用の際は必ず登録内容をご確認の上、ご指導・ご使用のほどよろしくお願ひします。

\*参考資料\*

害虫と防除法 JA全農 肥料農薬部

日本農業害虫大辞典 梅谷 献二・岡田 利承／編

\*8月号に記載されている内容はJA全農長崎のホームページに掲載されています。

JA全農長崎ホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況

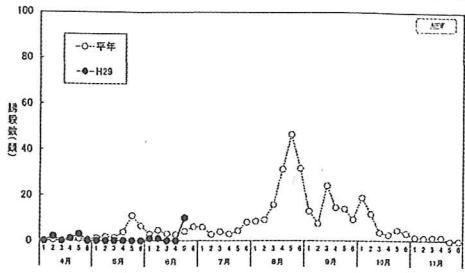


図 シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越)(月・半旬)

(諫早市小船越)

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況

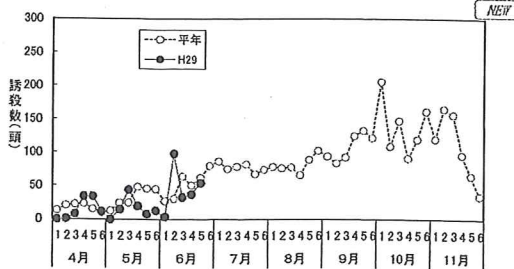


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越)(月・半旬)  
 平均:H19~H28年の平均値(最大・最小値除く)

(諫早市小船越)

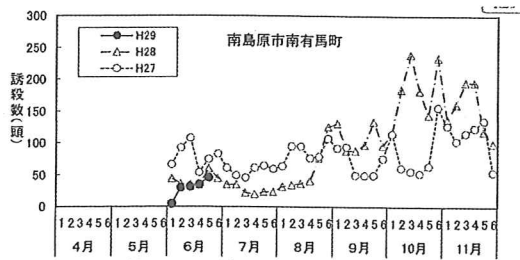


図3 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況 (月・半旬)  
 (病害虫防除員:南島原市南有馬町)  
 原則7日毎の調査結果を、一日当たり誘殺数に換算後、半旬毎に合計。

(南島原市南有馬町)

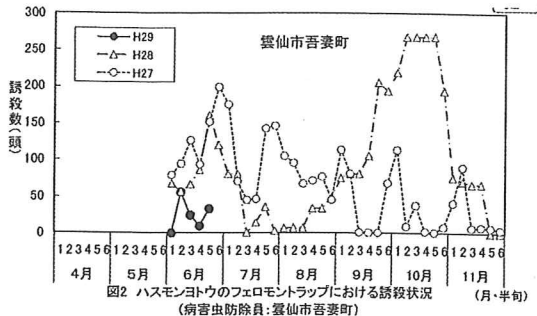


図2 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況 (月・半旬)  
 (病害虫防除員:雲仙市吾妻町)

(雲仙市吾妻町)

引用元:長崎県病害虫ホームページより <http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

JAグループ「安全防除運動」展開中

- ◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。  
 それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。
  - ・使うのは、もちろん登録農薬!
  - ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に!
  - ・使用後も、防除日誌で“安全証明”
- ◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。
  - ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を!
  - ・水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を!
- ◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。
  - ・暑さに負けるな。完全防備!
  - ・使用後は“薬の戸締り”万全に!

散布するときは、  
 マスク、メガネ、手袋を  
 きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう